

ちくしのクリップ

問 秘書広報課

10/11 保育士さんなどを
募集しています

認可保育所合同就職説明会

市内の認可保育所(公立4園、私立9園)の合同就職説明会を二日市東コミュニティセンターで行いました。参加した人は各保育所のブースで仕事内容などを確認していました。市内認可保育所では待機児童減少を目指し、保育士などを募集しています。この日参加できなかった人も興味がある人は各保育所に問い合わせください。



各保育所ではさまざまな雇用形態で人材を募集しています

10/11 つながりで地元を元気に

明治安田生命保険相互会社から寄付金

明治安田生命では、社会的孤立ゼロに向けて、つながる地域社会を目指す「地域の元気プロジェクト」に取り組んでいます。

今回の寄付金はその一環で、従業員の皆さんが行う「私の地元応援募金」として行われたものです。福岡支社長の生井 俊夫さんは、「地域の皆さんへのサービス向上に役立てていただければ」と話していました。



筑紫野市を応援する募金をいただきました

10/17 地域に残る伝統文化

市指定無形民俗文化財「山家岩戸神楽」

毎年10月17日、農作物の豊作を願い、山家宝満宮で氏神に奉納される山家岩戸神楽。室町時代から始まったとされるこの神楽は、一旦途絶えたものの、昭和29年に復興され、山家岩戸神楽保存会によって継承されています。

抱かれた子は健やかに育つと言われる「荒振神(あらふるかみ)」、米を盛った折敷を両手に持って舞

う「敷蒔(しきまき)」、山家小学校「山家岩戸神楽クラブ」卒業生による「四神神楽」など、全18番の演目のうち13番が奉納されました。

今年は日曜日の開催。天候にも恵まれたこの日、たくさんの方が訪れ、地域に残る伝統文化を楽しんでいました。



抱かれて泣く子を、多くの人が温かい目で見守った「荒振神」



笛の音色に合わせて軽やかに舞う「敷蒔」

10/24

ポンプ車の安全運転を再確認！

筑紫野市消防団安全運転講習会

火災など災害発生時に、車両の緊急走行を安全に行うため、筑紫野自動車学校の協力のもと、安全運転講習会が初めて行われました。講習と適正試験の後、実技講習として、狭路、スラローム、クランク、S字クランクを走行し、運転操作の基本を再確認しました。参加した団員は、「出勤は夜間が多く、狭い道での転回もあります。運転を見直す機会となりました」と話していました。



「オーライ、オーライ」S字クランクの後退は誘導しながら慎重に

10/17

見上げてごらん 夜空の花火を

つくしマイルプロジェクト「つくし絆花火」

コロナ禍で下を向きがちな地元に明るく心踊らせる機会をつくりたいと、つくし青年会議所による筑紫地区5市同時花火打上企画「つくしマイルプロジェクト～上を向いて歩こう2021～つくし絆花火」が行われました。

密集を避けるため会場は非公表で行われ、市内筑紫の会場近くでは、通りすがりの人が突然のことに驚きながらも立ち止まり、歓声を上げていました。



約5分間、夜空を彩りました

11/6

地名になった紫草で 紫根染めを体験

二日市東コミュニティ紫草プロジェクト

二日市東コミュニティ運営協議会交流部会による「紫草プロジェクト」。筑紫野むらさきまちづくり協会のご協力で、今回はハンカチの紫根染めを行い約20人が参加しました。樁の灰からつくった媒染液と紫根から抽出した染液に交互に浸し、染まっていく様子を楽しみました。(紫草の詳細は文化薫道を参照)

交流部会長の渡部篤恵さんは「紫草の知識を学び、伝えられる体験につなげたい」と話していました。



紫色の染液は手に付くと3日は取れないという話も

10/23

たくさんのいきもの 見つけたよ

天拝の森いきもの調査隊(自然観察会)

市環境課主催の自然観察会が行われ、親子連れなど約20人が参加しました。

今回は、天拝公園を四つのエリアに分け、それぞれを順に回り、生息する生き物を「ターゲット」として探すゲーム形式で行われました。見つけた植物や昆虫などの特徴を聞き、見て、触って、匂ったり。専門の先生に質問しながら、大人も子どもも熱心に生き物を探していました。



野草「チカラシバ」引っ張って抜くことができるかな？

日 日時・期間
場 場所
対 対象
内 内容
定 定員
料 料金
持 持参物
締 締切
申 申し込み先

問 問い合わせ先

☎ 電話番号

FAX

フックス番号

✉

電子メール

HP

ホームページ